様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和　8 年　6 月　16 日

福島県知事　　殿



提出者
住　所　宮城県仙台市青葉区本町一丁目7番1号
氏　名　東北電力ネットワーク株式会社
総務部長　斎　藤　清　晴
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　022-799-3105

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和7 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	①東北電力ネットワーク株式会社　白河電柱置場 ②東北電力ネットワーク株式会社　会津若松電柱置場 ③東北電力ネットワーク株式会社　相双電柱置場 ④東北電力ネットワーク株式会社　双葉第2保管所 ⑤東北電力ネットワーク株式会社　大熊第1保管所
事業場の所在地	①福島県白河市北真舟5-1 ②福島県会津若松市町北町大字藤室字横道115-1 ③福島県南相馬市原町区錦町二丁目2 ④福島県双葉郡双葉町大字細谷字陣場下70 ⑤福島県双葉郡大熊町熊川字古舘地内
事業の種類	電気業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和 7 年 4 月 1 日 ～ 令和8 年 3 月 31 日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	2,587.00 t	全処理委託量	2,587.00 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	0 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	2,587.00 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t

※事務処理欄	

（日本工業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）
別紙のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（ 令和 7 年度）実績】

産業廃棄物の種類	がれき類	
排　　出　　量	2,684.52　t	t

（これまでに実施した取組）
再生利用業者へ処理を委託し，再生砕石として再資源化・有効活用

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	がれき類	
排　　出　　量	2,416　t	t

（今後実施する予定の取組）
現状に同じ

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

確実な分別で他の廃棄物が混入しないよう保管を行う

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

現状に同じ

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（ 令和 7 年度）実績】

産業廃棄物の種類	がれき類	
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	がれき類	
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	t

（今後実施する予定の取組）

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（ 令和 7 年度）実績】

産業廃棄物の種類_	がれき類	
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	がれき類	
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	t

（今後実施する予定の取組）

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（ 令和 7 年度）実績】

産業廃棄物の種類	がれき類	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	がれき類	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（ 令和 7 年度）実績】

産業廃棄物の種類	がれき類	
全処理委託量	2,684.52 t	t
優良認定処理業者への処理委託量	0 t	t
再生利用業者への処理委託量	2,684.52 t	t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t

（これまでに実施した取組）

再生利用業者へ処理を委託し，再生砕石として再資源化・有効活用

<table>
<tr><td></td><td>②計画</td><td>【目標】
<table>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>がれき類</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>2,416　t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処 理 委 託 量</td><td></td><td>0　t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処 理 委 託 量</td><td></td><td>2,416　t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処 理 委 託 量</td><td></td><td>0　t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量</td><td></td><td>0　t</td><td>t</td></tr>
</table>
（今後実施する予定の取組）
現状に同じ</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

（別　紙）

第　2　面　　産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項　　について

（管理体制図）

廃棄物管理責任者	所　　属：東北電力ネットワーク株式会社 役　　職：総務部長
廃棄物管理担当個所	組 織 名：東北電力ネットワーク株式会社　総務部（総務）
廃棄物管理担当者	組 織 名：東北電力ネットワーク株式会社　総務部（総務）
産業廃棄物保管責任者	所　　属：東北電力ネットワーク株式会社　総務部（総務） 役　　職：課　長
廃棄物保管担当	組 織 名：東北電力ネットワーク株式会社　総務部（総務）

